

福祉分野

「介護する側（介護支援）」と「介護される側（自立支援）」
一台二役の新モデル展開 (2019年8月～)

介護支援

介護動作時の
腰部の筋肉・椎間板の負荷を低減

起き上がり介助



移乗介助



入浴介助



移乗介助（入浴時）



大泉特別養護老人ホーム

高齢でも続けられる介護の仕事、人材不足解消、高齢者雇用促進

自立支援

体幹・下肢機能の維持向上で
自立度を高める

1ヶ月間



1ヶ月
後



HAL前 (24秒) → HAL後 (11秒)

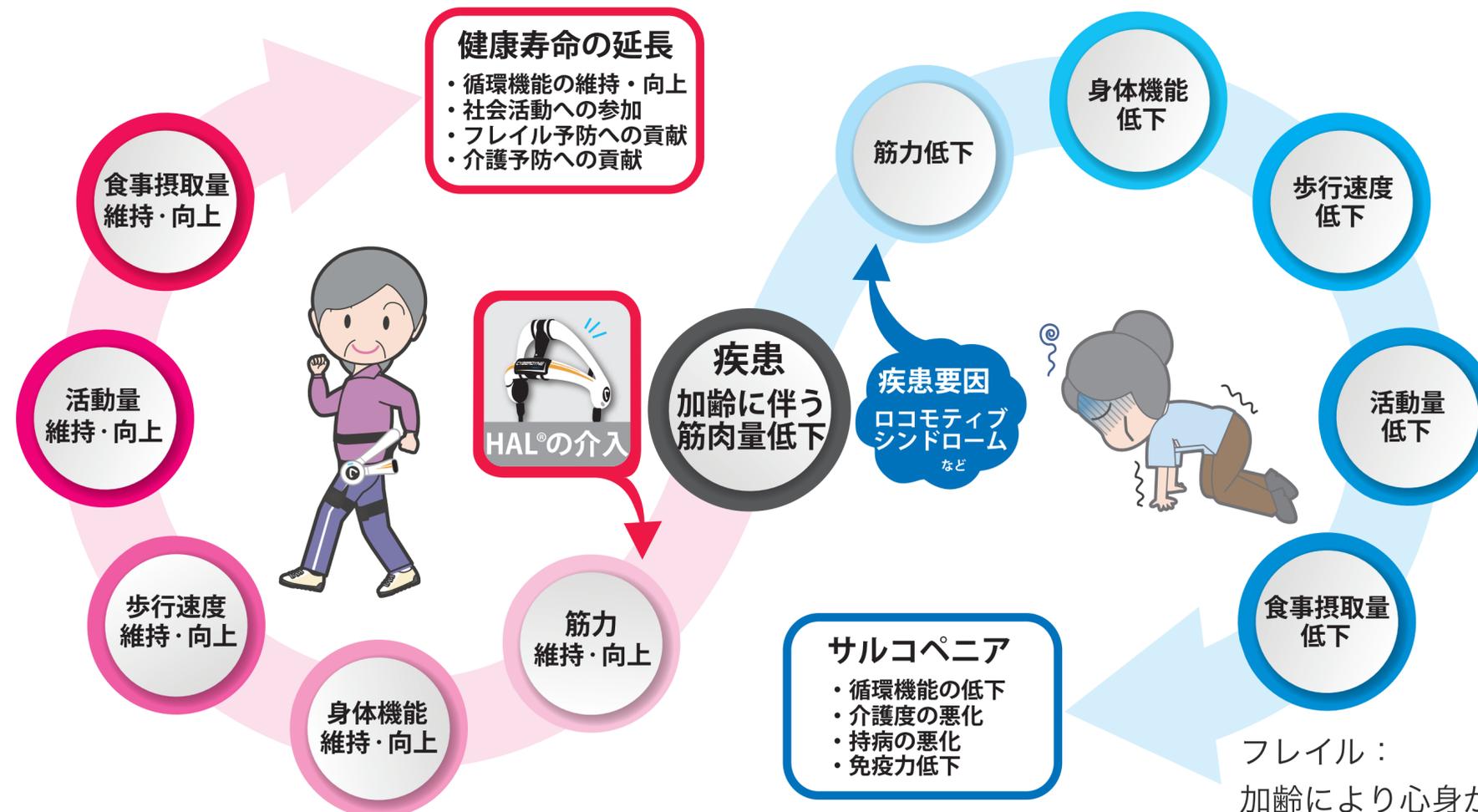
HAL自立支援用によって健康寿命の延長

フレイル予防活動
(健康増進プログラム)

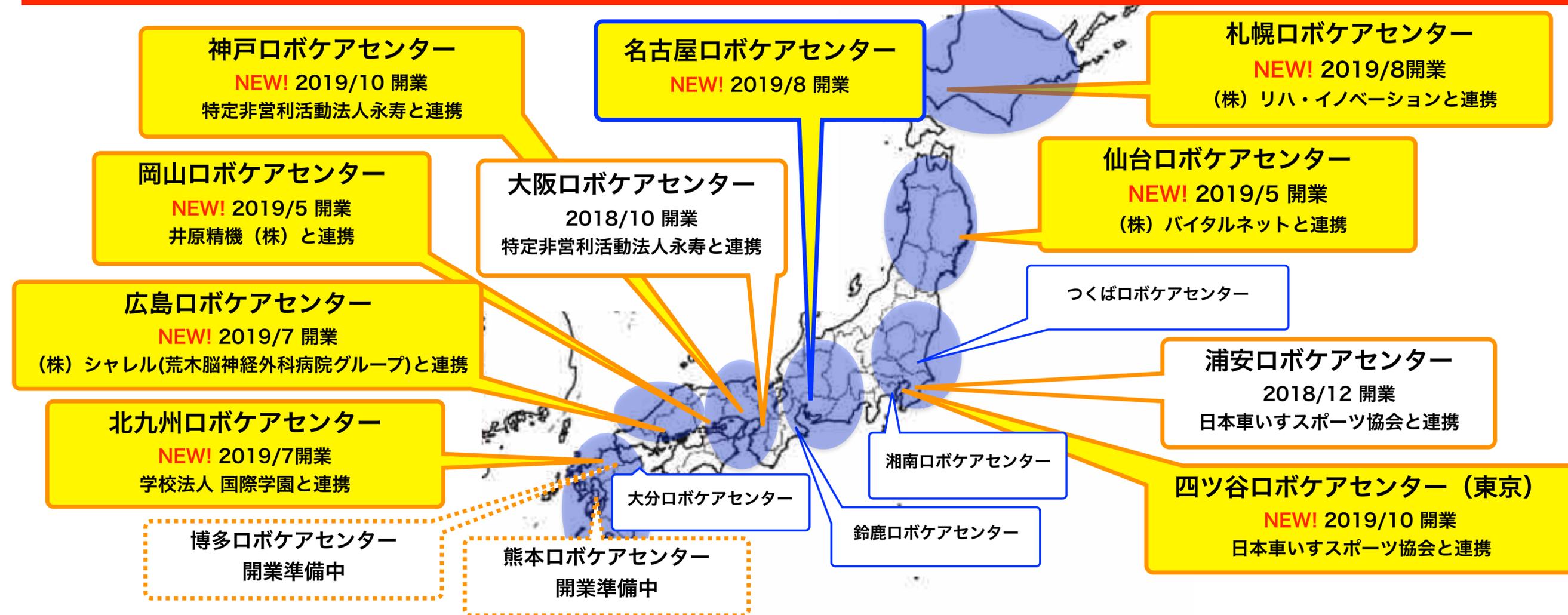


フレイル予防を促すサイクル

フレイルサイクル



HALを使用したNeuro HALFIT®を全国展開 (現在14箇所。今後も政令都市を中心に展開予定)

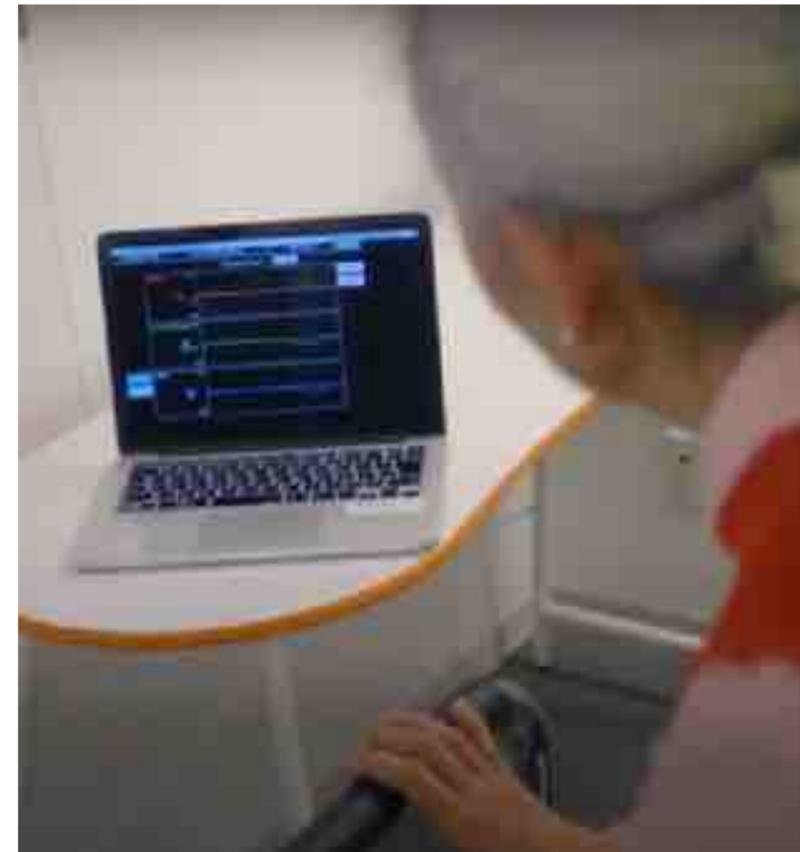


2019年1月より、AIG損保株式会社が保険適用（自動車保険と法人向け傷害保険被保険）
2019年1月より、損保ジャパン日本興亜株式会社が保険適用（自動車保険）
2019年6月より、当社の株主優待の利用開始
2020年4月より、大同生命保険株式会社が保険適用（介護保障保険）

2020年4月より、初の民間介護保険への付帯サービス (大同生命)

保険会社	保険契約 (開始時期)	適用対象	給付内容
 大同生命	<ul style="list-style-type: none"> 総合医療保険 (Mタイプ) (2017年7月) 	所定の8つの神経筋難病に罹患し、「HAL®医療用下肢タイプ」による治療を受けた被保険者	HALプラス給付金 (一時金で100万円)
	<ul style="list-style-type: none"> 介護保障保険 (終身介護保障保険、介護収入保障保険) (2020年4月) 	公的介護保険制度「要支援1～要介護2」の認定を受けている契約者・被保険者およびそのご家族	ロボケアセンターで提供される「Neuro HALFIT」プログラム3回分の実費
 AIG	<ul style="list-style-type: none"> 自動車保険 (人身傷害保険をセットした特定の契約) 業務災害総合保険・総合事業者保険 (業務災害) 経営者大型総合保障制度・総合型等 (2019年1月) 	脊髄損傷等による後遺障害を負った被保険者	ロボケアセンターで提供される「Neuro HALFIT」プログラム10回分の実費
 SOMPO 損保ジャパン	<ul style="list-style-type: none"> 自動車保険 (人身傷害保険とセット契約) (2019年1月) 	脊髄損傷等による後遺障害を負った被保険者	医師の指示により行うロボットスーツ歩行運動処置等にかかる実費

自宅で「Neuro HALFIT」
→まずは、HAL腰タイプ自立支援用から展開



日常的に脳神経・筋系の機能の向上を促し、
自立度を高めることにより要介護予防をサポート

生活・職場分野

HALの導入により、労働環境改善や労働災害防止



大和ハウス工業様の活用事例

活用できる作業の例

荷物を持ち上げる・運ぶ

材料の積み替え

反復作業

中腰の作業

荷下ろし・仕分け

本事例（鉄骨部材へプレート取り付け）は、プレートは約15kgの重量があるうえ、中腰姿勢も多い作業です。作業員の腰にかかる負担を軽減するためHALを導入しています。

救急隊員向け消防装備品として、HAL導入の取り組み

つくば市（茨城県）と海老名市（神奈川県）の各消防本部で採用



救急搬送作業

ストレッチャー作業

つくば市消防本部



救急搬送作業

ストレッチャー作業

（動画は、横浜市消防本部）

HAL装着の様子（海老名市消防本部）

女性救急隊員による活用



わずか8秒で
装着

救急活動の流れ



復旧作業支援機器として各被災地で活躍（防塵・防水仕様）

佐賀(大町町), 茨城(大子町), 神奈川(相模原市)での洪水・土砂災害の復旧活動で実績 (2019年9-11月)

スコップによる泥掻き出し作業



高圧洗浄機による洗浄作業



家屋（床下）の泥掻き出し作業



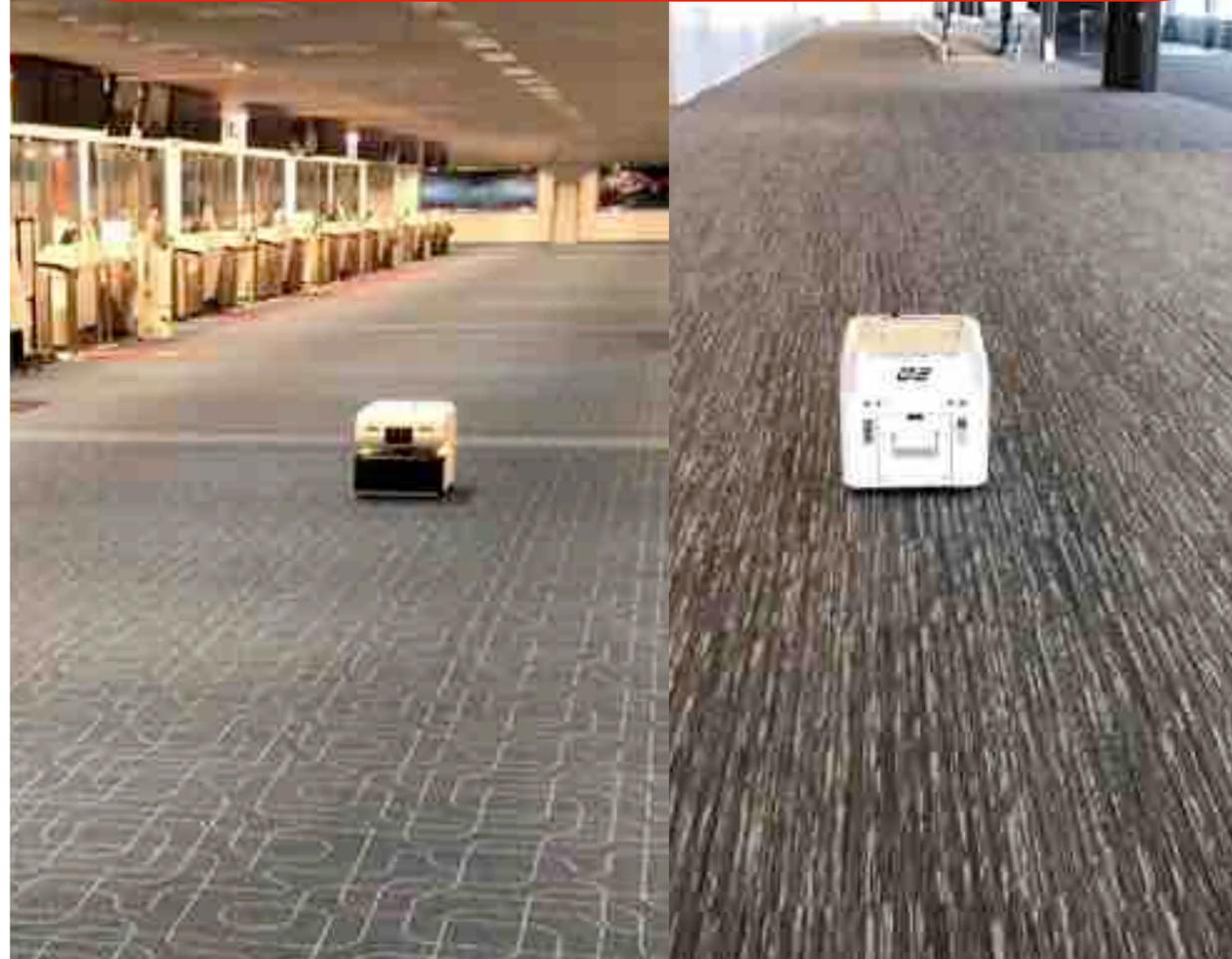
救援物資の運搬作業



空港での清掃業務の自動化・プラットフォーム化

世界最高水準のSLAM技術による自律走行 ※ SLAM：自己位置推定と環境地図作成を同時に行うこと

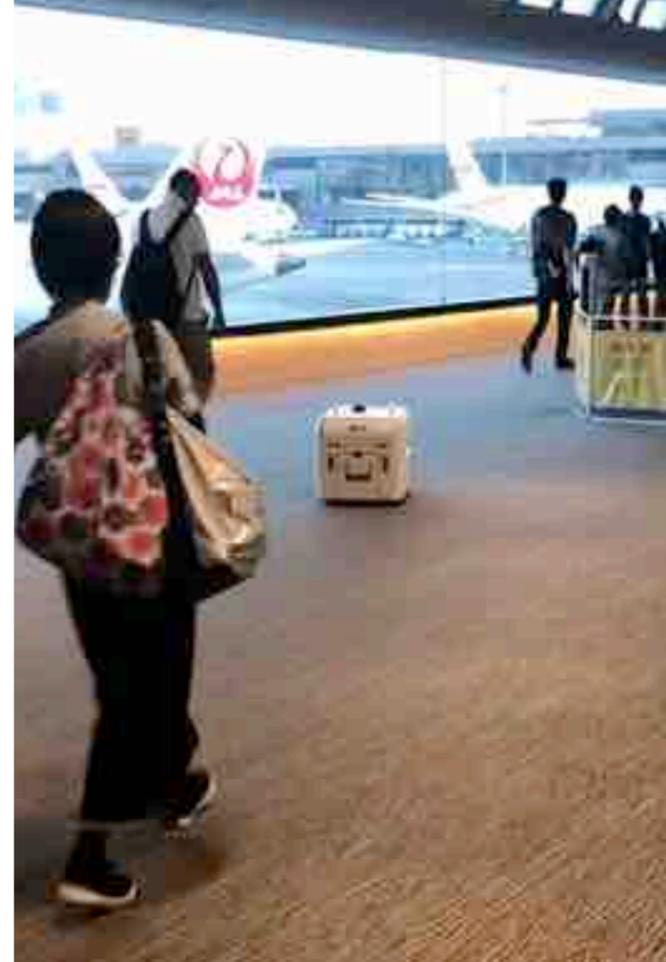
広面積での高速走行（最高時速 4kmに設定）
清掃能力：2時間でMax 3,000m²



羽田空港
第2ターミナル

成田空港
国際線ターミナル

歩行者(旅客)の中での
安全走行



成田空港
国際線ターミナル

障害物や壁の
回避走行



羽田空港
第2ターミナル

2020年4月1日に、羽田国際空港に緊急導入



本書には、当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が本書作成時点において入手した情報に基づきなされたものであり、当社が何らの検証を行っておらず、また内容を保証するものではない公開情報を含んでいます。当社はこれらの記述を更新する義務を負っておりません。

当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標は、当社が合理的と考える前提のもとに記述がなされていますが、これらの将来に関する記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、これらの記述において表現または暗示されている当社の将来の結果、業績、成果、財政状態と著しく異なる実際の結果、業績、成果、財政状態をもたらす可能性のある、既知および未知のリスク、不確実性、その他あらゆる要素を含んでいます。

CYBERDYNE株式会社